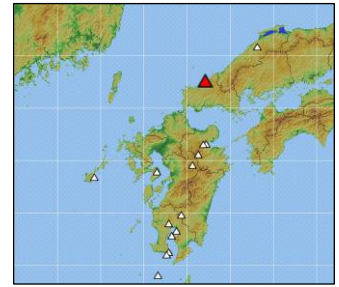


80. 阿武火山群 Abu Volcanoes

北緯 34° 26′ 58″ 東経 131° 24′ 07″ 標高 112m (笠山) (三角点)



阿武火山群 鍋山 2008年1月28日 気象庁撮影

概要

阿武火山群は、山口県北西部の萩市、阿武町、山口市に分布する 40 あまりの火山体から構成されている。阿武火山群の活動は、約 200 万～150 万年前の前期と約 80 万年前以降の後期に区分される。前期の活動は溶岩台地を形成したアルカリ玄武岩の活動である。後期の活動では、アルカリ玄武岩の溶岩台地、川を流れ下った溶岩流、スコリア丘を形成した。約 40 万年前からはじまったカルクアルカリ安山岩～デイサイトの活動は、溶岩台地(溶岩平頂丘)を形成した(角縁・永尾, 1993)。構成岩石の SiO_2 量は 47.0～61.6 wt.% である。

写真



萩沖島群 2008年1月28日 気象庁撮影



笠山 2006年3月26日 気象庁撮影

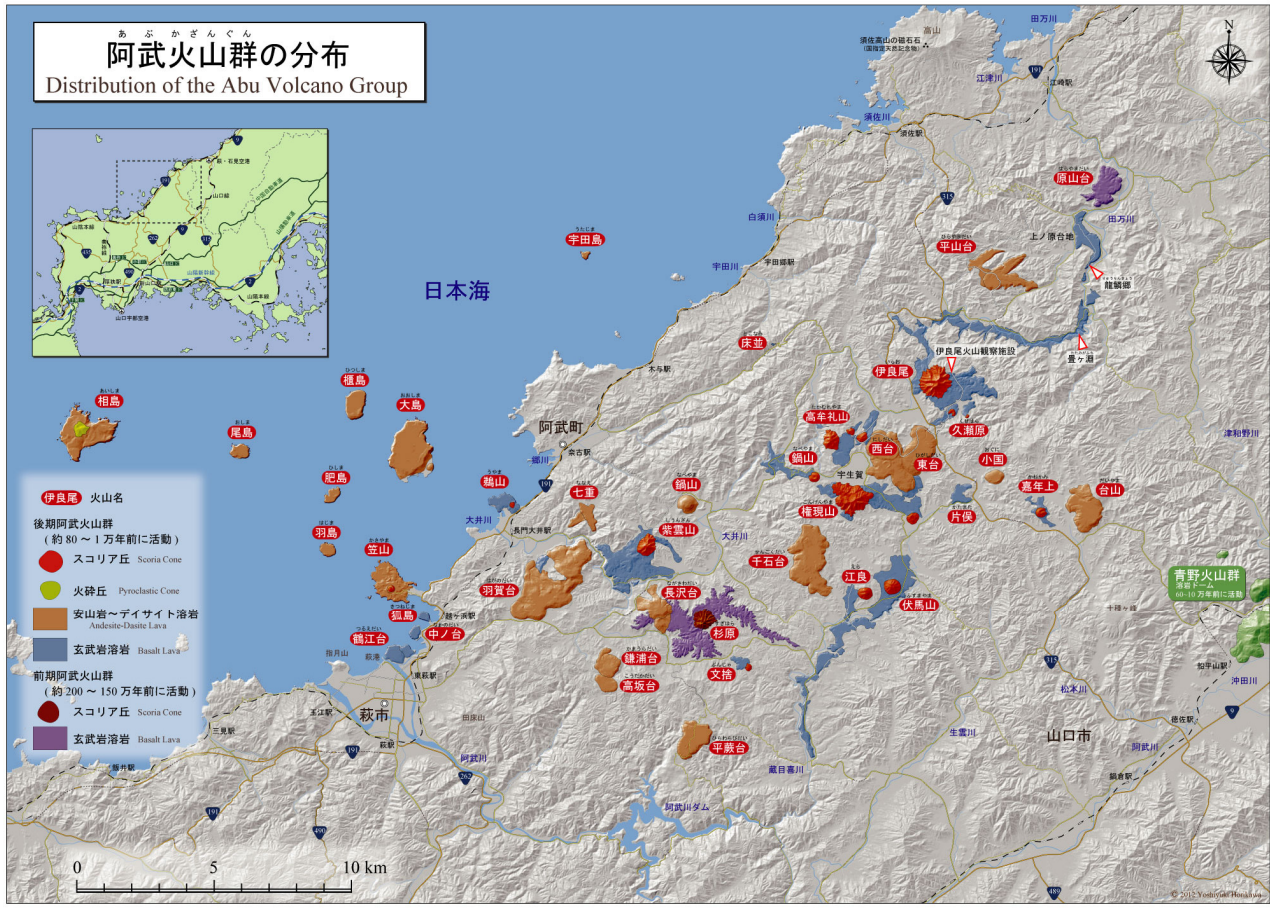
地形図



図 80-1 阿武火山群の地形図。

国土地理院発行の5万分の1地形図(萩、徳佐中、相島、須佐)及び数値地図50mメッシュ(標高)

火口分布図



この地形データ図の作成にあたっては、国土地理院発行の基礎地図情報数値地図 10m メッシュ（標高）を使用し、カシミール3Dを用いて図像化した。

図 80-2 阿武火山群の火山体の分布（堀川義之・永尾隆志（原図））。

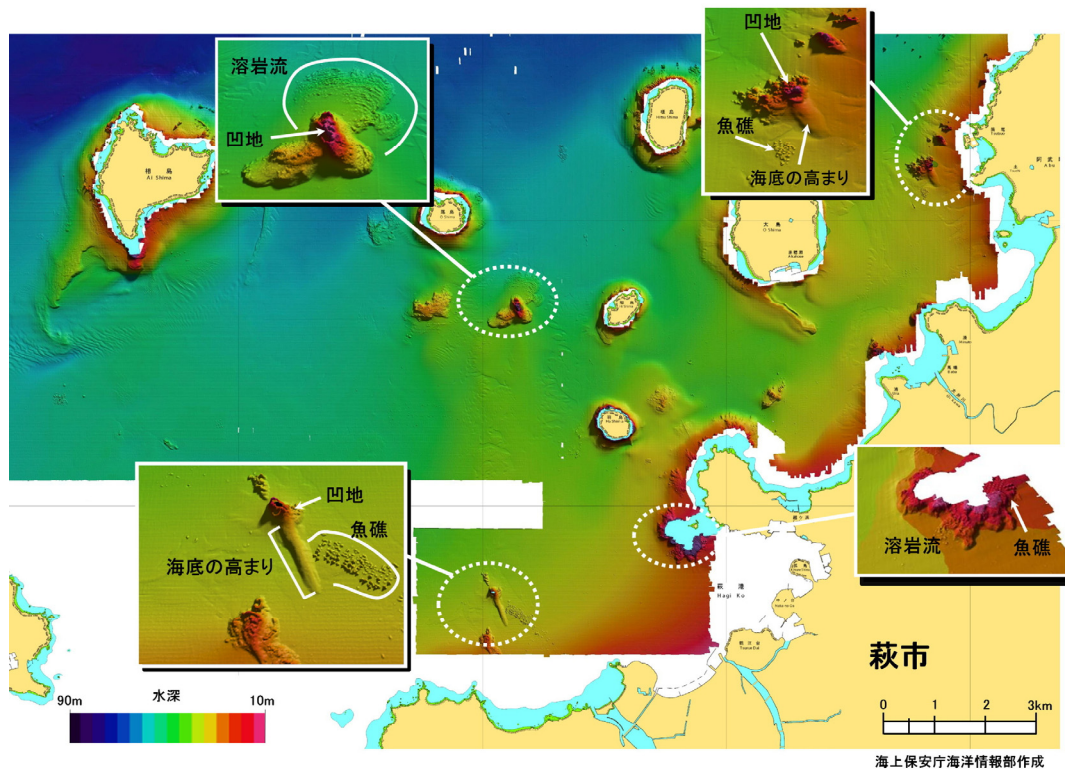


図 80-3 阿武火山群周辺の海底地形（海上保安庁海洋情報部）。

噴火活動史

・過去1万年間の噴火活動

笠山では、約11000年前には玄武岩質安山岩の溶岩台地が形成され、最新の噴火（8800年前）にはストロンボリ式噴火によりスコリア丘が形成された。（永尾・半田，1985；永尾・他，2001）。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
11.4ka ⁴	笠山 ^{2,3,5}	マグマ噴火 ^{2,3,4,5}	溶岩流。
8.8ka ^{4,5}	笠山 ^{2,3,5}	マグマ噴火 ^{2,3,4,5}	スコリア丘形成。

※年代、噴火場所、噴火様式、噴火イベント等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住，2006-)を参考に、文献の追記を行った。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000年前」を意味し、西暦2000年を0kaとして示した。

【引用文献】

1. 鷹村 権 (1973) 中国地方新生代玄武岩類の岩石学並びに岩石化学的研究. 広島大学地学研究報告, **18**, 1-167.
2. 永尾隆志・半田正敏 (1985) 萩市笠山周辺の新生代火山岩類. 日本地質学会第92年学術大会見学旅行案内書, 119-136.
3. 角縁 進・他 (1995) 山口の新生代火山岩類. 日本地質学会第102年学術大会見学旅行案内書, 157-170.
4. 永尾隆志・他 (2001) 阿武単成火山群の熱ルミネッセンス年代-萩・笠山火山のスコリア丘は3,000年前に噴火した-. 日本火山学会講演予稿集2001, 2, 75.
5. 永尾隆志 (2002) オープンエア・ミュージアム 山口の火山-阿武単成火山群と青野火山群-. 桜プリント社, 51p.

・有史以降の火山活動

現在は、噴気活動は認められない。

噴火の前兆現象

現時点では噴火の前兆現象に関する明確な知見は得られていない。

近年の火山活動状況

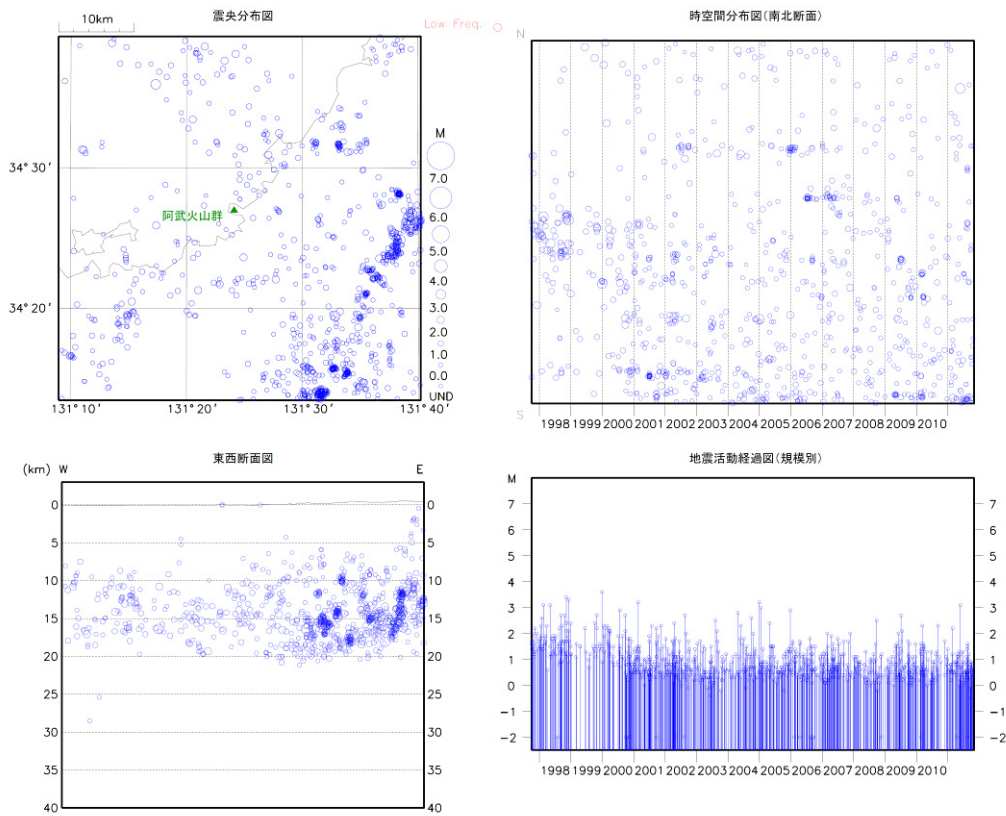


図 80-4 広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤)(1997年10月1日～2012年6月30日).

防災に関する情報

①火山防災協議会

なし

②避難実績及び入山規制等の実績

なし

社会条件等

①人口

(山口県ホームページの人口移動統計調査 平成 23 年 10 月 1 日現在)

山口市	196,464 名
萩市	52,835 名
阿武町	3,673 名

②国立・国定公園・登山者数等

北長門海岸国定公園（萩市、阿武町、他（長門市、下関市））

③付近の公共機関

市町名	機関名	住所	電話番号
山口市	山口市役所防災危機管理課	山口市亀山町 2-1	083-934-2723
	山口市役所阿東総合支所	山口市阿東徳佐中 3417-2	083-956-0111
萩市	萩市役所防災安全課	萩市大字江向 510	0838-25-1067
	萩市役所川上総合事務所	萩市川上 4462-1	0838-54-2121
	萩市役所田万川総合事務所	萩市大字下田万 1036	08387-2-0300
	萩市役所むつみ総合事務所	萩市大字吉部上 3191-1	08388-6-0211
	萩市役所須佐総合事務所	萩市大字須佐 4570-5	08387-6-2016
	萩市役所旭総合事務所	萩市大字明木 3174	0838-55-0211
	萩市役所福栄総合事務所	萩市大字福井下 4013-1	0838-52-0121
阿武町	阿武町役場総務課	阿武郡阿武町大字奈古 2636	08388-2-3110

④主要交通網

- ・鉄道
JR 山陰本線、JR 山口線
- ・路線バス会社
防長交通（株）、JR バス、山口市営バス
- ・高速道路
中国自動車道
- ・国道
9 号線、191 号線、262 号線、490 号線

⑤関連施設

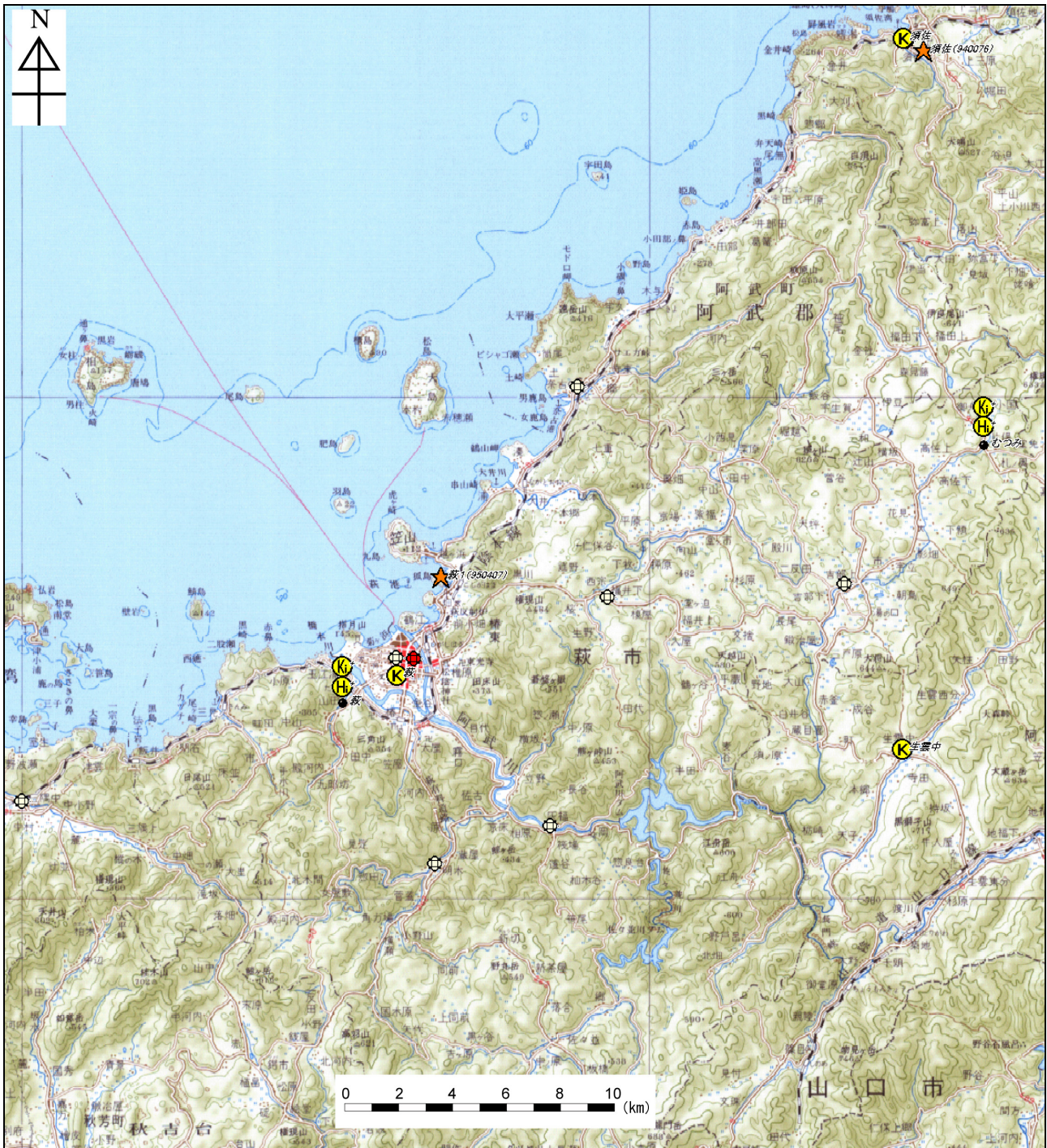
- ・萩博物館

関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
福岡火山監視・情報センター	(福岡管区気象台) 福岡県福岡市中央区大濠 1-2-36	092-725-3601
下関地方気象台	山口県下関市竹崎町 4-6-1 下関地方合同庁舎	083-234-4005

気象庁および大学等関係機関の観測網

広域 ※ 同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を●で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の20万分の1地勢図(山口)

凡 例		
(気象庁)	(国土地理院)	(防災科学技術研究所) (自治体)
● 震度計	★ GPS	● Hi-net
		● K-NET
		● KiK-net
		⊕ 震度計

引用文献

- 角縁 進・永尾隆志 (1993) 阿武単成火山群の K-Ar 年代—マントル・ダイアピルの寿命. 日本地質学会第 102 年学術大会講演要旨集, 252.
- 永尾隆志・半田正敏 (1985) 萩市笠山周辺の新生代火山岩類. 日本地質学会第 92 年学術大会見学旅行案内書, 119-136.
- 永尾隆志・他 (2001) 阿武単成火山群の熱ルミネッセンス年代—萩・笠山火山のスコリア丘は 3,000 年前に噴火した. 火山学会講演予稿集, 75.